

11月のリフレクションシートから

11月は10講座（累計13回）が行われました。今回も受講生のリフレクションシートの中からいくつか紹介します。残り少ないiP-Uの授業ですが、「5つの基盤的能力」を意識して、授業や課題に取り組んでください。

先生が始めに「化学は物質と物質の変化を扱う学問であり、決して暗記教科ではない」と仰った。その言葉通り、赤色沈殿がきれいにできたときは感動し、使う薬品を変えれば沈殿色も変わるのか・どれくらいのバリエーションがあるのか知りたくなった。

環境分析入門

感性工学は、実際がどうであるかよりも人間がどう感じるかを重視することだとわかった。そして、人間の感覚器官についてもっと調べていけば、例えばネットで洋服を買うときの画像と実物で感じる印象の違いを少なくしたり、画面の中で服の試着ができるようにするなど、広く応用できることを知った。工学への興味が大きくなった。

感性工学入門

将来、自分の研究で必要になる顕微鏡を使用して学習できた。サンプルの写真を撮って、スライドを作成する作業は、時間の計画を立てて行わなければならないことがわかった。これは「コツコツ力」だと思う。

光学顕微鏡で覗く 生物のミクロワールド

目標とは違う結果が出て、また新たな目標をたてることで、何かの成功を導き出せることを知った。そのためには、いろいろな分野に興味を持ち知識を持つこと、周りを巻き込むことが必要。

何かを成功させるには、iP-Uの基盤的能力が重要なのだとわかった。

幸運をつかむコツ

普段のiP-Uメンバー以外の人たちと一緒に実験をするため、円滑で安全に実験しようと意識していた。担当して下さった技術スタッフの方を見習って、周囲へ気を配りながら人の気持ちを考えて行動した。これは研究者として必要なスキルだと思う。この感覚を日頃から持ち続けることが大切だと思った。

一日体験化学教室



宇都宮大学UUSで
小学生に理科実験を教えよう

